



椎の木

令和3年4月8日発行 第1号

朝霞市立朝霞第八小学校
〒351-0012 朝霞市栄町5-1-41
TEL: 048-465-8381
FAX: 048-467-4739
文責: 校長 唐松善人

【目指す児童像】 かしこく・やさしく・たくましく



原石を磨く



このたび、4月1日付けをもちまして、高田雅志校長の後任として朝霞市立朝霞第八小学校長を拝命いたしました、唐松善人（からまつ よしと）です。前任者の業績を継承し、よりよい学校づくりを目指して一生懸命努力してまいりたいと思います。保護者並び地域の皆様方におかれましては、本年度も本校の教育活動に対しまして、御理解・御協力をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

本年度で46年目を迎える本校は、1201名の児童でスタートしました。215名の新1年生を迎え入れ、進級した児童の表情には、喜びと自信が見られて学校は活気に満ちています。

本校では、令和3年度学校教育目標、目指す学校像及び目指す児童像を以下のように設定しました。

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基調とし、知・徳・体の調和のとれた、健康で人間性豊かな子供の育成を目指す。

2 目指す学校像

- 感動があり、学ぶ喜びを感じる学校
- 活力がみなぎり、安全・安心で楽しい学校
- 個性が尊重され、互いが高め合える学校
- 整理整頓が行き届き、清潔感のある学校

3 目指す児童像

- 自ら考え、自ら学ぶ子供（かしこく）
- 明るく、思いやりのある子供（やさしく）
- 丈夫で、ねばり強い子供（たくましく）

さて、児童一人一人は、かけがえのない資質や能力を持った原石といえます。小学校段階では、当然のことですが、社会の中で自立して生きていく力はまだ十分には身に付いてはいません。しかし、原石である児童一人一人には、未来に向けて無限の可能性が秘められています。

本校では、学校教育目標や目指す児童像の具現化を通して、児童一人一人に学力や豊かな心、健康・体力をバランスよく育むとともに、未来に向けての夢や希望を持たせます。その際、日々の教育活動を通して、原石である児童から一人一人のよさや可能性を引き出し、育て、伸ばすことこそ本校教職員の使命と考えます。集団での活動により原石と原石を磨き合わせ、個に応じた指導により原石を磨き上げ、その結果、児童一人一人が固有の輝きを持った宝石になることを目指します。そのためにも、私たち本校教職員一同は、学校教育の専門職として常に自らを高めるよう努力し続けたいと考えます。

